

2020年度（令和2年度）事業報告書

（2020年4月1日～2021年3月31日）

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia

I. 2020年度（令和2年度）の重点事項の成果

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia（以下 SSFC）は平成30年3月8日に公益認定を取得し、一般社団法人から公益社団法人に移行し（平成29年4月19日に一般社団法人として設立）、本年度は、設立4年目に当たる。2020年2月からのコロナ禍により当法人の活動は大きく制約を受けた。就学支援は、現地のカンボジア代表と連絡を取合い通常の支援活動が行えたが、教育環境の改善支援については現地に行くことができず行えなかった。

また、2020年3月27日に、設立からの代表理事住田平吉が他界した。当法人の設立趣旨、活動を振り返り、「にょにゅむ通信」の誌上で追悼を行った。カンボジアの支援先の学校、関係者から多数追悼文が届いた。

1. 就学支援事業（奨学金給付）

シェムリアップ州バコン郡のアラン・ランサイ中学校とスレイ・ヴィボケイ中学校の2校で行った。奨学金給付生徒は両校合わせて17人、高校生3人を支援した。全員が貧しくまた、コロナ禍でさらに生活が厳しいので大変喜ばれた。

2. 教育環境の改善支援

本年は、コロナ禍のため現地での支援活動は行えなかった。

3. 広報・募金活動

日本国内における支援者募集も、カンボジアでの支援活動の実際をパンフレットやホームページ・インターネット、Facebook、「にょにゅむ通信」等で報告し、宣伝活動をした。

Ⅱ. 2020年度（令和2年度）カンボジア教育支援活動の内容

1. 就学支援事業

カンボジアでは中学3年までが義務教育であるが、地方の州では中学3年で卒業できる生徒は、中学1年時入学生徒の半数に減ってしまう（故住田の18年間の調査結果）。その原因の第一は貧困であり、「貧困のために中途退学をして、働かざるを得ない現状」がある。

退学する生徒の中には、成績もよく能力もあり、勉学意欲がある生徒も少なくない。そのような生徒に就学支援をした。

（1）奨学金の給付条件等

① 奨学金の給付対象中学生・高校生の条件

- 成績優秀かつ真面目で人柄が良く、ただ貧困のために中途退学せざるを得ない生徒
- 中間・期末試験の成績が各学級で5番以内、又はそれに準ずる生徒
- 欠席日数が少ないこと。怠けによる欠席が無いこと。
- エイズや結核・肝炎など長期治療を要する病気を持っておらず、心身ともに健康であること
- 上記の条件を満たし、校長・担任教師が推薦した生徒

② 奨学金給付を受ける生徒の学年と給付期間

- 原則として中学2年生以上高校3年生までを支援する。必要に応じて中学1年生も支援する。
- 給付期間は、1年毎にSSFCの理事会で審査し更新する。原則として高校3年生まで支援する。

③ 奨学金給付の中止。中止の決定は家庭環境を調査の結果SSFC理事会で決定する。

- 給付生徒の家庭の収入が多くなり、3回の食事や学費に困らなくなった時
- 給付生徒が学習に意欲をなくし、成績が著しく悪くなった時
- 給付生徒が退学した時

④ 奨学金給付内容（物品を含む）

中学生・高校生の1年間の給付内容

■ 物品の給付

- 制服上着2着スカート・ズボン1着
- 靴1個（必要に応じて）
- 運動靴1足
- ノート（200P）20冊（中学生15冊）
- ボールペン青10本、赤3本
- マーカー2組
- その他必要文房具
- 米15Kg/月×12ヶ月=180Kg

■ 支援開始時

- 自転車1台（必要に応じて）
- その他必要な物品

■ お金の給付

- 補習代 $6\$ / 1 \text{ 教科} \times 5 \text{ 教科} \times 10 \text{ 月} = 300\$$
- 教科書代 $40\$$
- 生活費 $10\$ \times 10 \text{ ヶ月} = 100\$$ （授業のある10ヶ月支給する）

1年間1人当たりの必要金額概算

- 中学生： 665
- 高校生： 788

（2）奨学金の給付状況等

① 授業等の状況

2019年度からの奨学金給付生徒20人には変更はない。

カンボジア代表を通じて現地の様子を確認していたが、12月から、支援校の先生方とビデオ会議（メッセージャー）を行い、状況の確認を行った。ビデオ会議は、3、4か月に一度継続して行く。

出席者は以下の通り

- アラン・ランサイ中学校：プローン・プロン校長先生
ノッ・サヴァ副校長
貧しい生徒の担当シエット・ティー先生
ヘイン・ボリナ（SSFC）、小林（SSFC）
- スレイ・ビボケイ中学校：ブン・コン校長先生
ヘイン・ボリナ（SSFC）、小林（SSFC）

2020年4月からカンボジア・シェムリ・アップ州の学校は閉鎖となり、2021年1月に新学年が開始した。それに合わせて、各学校の先生が引率して新学期用の制服等の学用品を購入してもらった。

現在も学校は閉鎖されており、授業は、アラン・ランサイ中学校、スレイ・ビボケイ中学校とも携帯電話を使ってオンラインで行われている。カンボジアの電波状況がよくないこと、また生徒全員が携帯電話を持っていない等の問題はあるが、授業は日々行われているようだ。

アラン・ランサイ中学校とスレイ・ビボケイ中学校の奨学金給付生徒の生活状況を確認したところ、コロナ禍で以前より生活は厳しくなっているため、SSFCからのお米の配布は大変喜ばれているとのことであった。

② 給付状況

- 授業が休み：毎月米15kg
- 授業がある場合：毎月、米15kg・生活費10\$・塾代
- 新学年開始時：制服上着2着
スカート、ズボン1着
靴、運動靴
自転車（必要に応じて）
ノート（200P）20冊（中学生15冊）
ボールペン青10本、赤3本
マーカー2組
その他必要な文房具

③ 奨学生

- アライン・ランサイ中学校
 1. マーソ・ポン（中学3年・女14才）
 2. パー・ワン・シン（中学3年・男14才）

3. カウ・ティ（高校2年・女17才）

■ スレイ・ビボケイ中学校

1. チェン・チャート（中学3年・男15才）
2. ヘイン・カイ（中学3年・女13才）
3. ヒエン・ティーハー（中学3年・男14才）
4. コン・ティム（中学3年・男14才）
5. ソート・カウン（中学3年・女15才）
6. チョム・サ（中学3年・男19才）
7. ティエ・スマイ・パンニャー（中学3年・男15才）
8. チョン・サム（高校1年・男18才）
9. ロン・チョン（高校1年・女17才）
10. スーン・ダン（中学3年・男15才）
11. ピー・スレイ・トウ（中学3年・女14才）
12. ケッ・ヌーン（中学3年・女17才）
13. コーン・ティム（中学3年・女13才）
14. ウーン・ソペア（高校1年・女17才）
15. コン・サイ（高校1年・女16才）
16. ジェット・ピー（高校2年・男20才）
17. リー・ソック（高校2年・女17才）

2. 教育環境の改善支援

本年は、コロナ禍のため現地での支援活動は行えなかった。

3. 広報・募金活動

今までの広報活動のパンフレットやホームページ・インターネット、「にょにゅむ通信」の発行に加え、2021年1月から Facebook での活動の報告を開始した。

令和2年度事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年6月

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia